



記者発表日：令和3年3月23日

## お知らせ

■同時発表先：岡山県政記者クラブ、倉敷記者クラブ、業界紙（山陽建設通信社、建通新聞社、日刊建設新聞社、建設日報、中建日報社）

# 新たに2箇所で防災や交流の拠点づくりが始まります ～柳井原地区河川防災ステーション整備計画、 小田川かわまちづくり計画の認証伝達式の開催～

令和3年1月に倉敷市が、国土交通省水管理国土保全局長へ申請した「柳井原地区河川防災ステーション整備計画」と「小田川かわまちづくり」計画が、令和3年3月19日付けで登録されたので、以下の予定で、中国地方整備局河川部長から倉敷市長へ認証を伝達します。

○日時：令和3年3月26日（金） 14時10分～

○開催場所：倉敷市役所 3階 特別会議室

○出席予定者

倉敷市長

中国地方整備局河川部長

※ご来場におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策の一環としてマスクの着用・体温の計測などご協力をよろしくお願ひします

### 【問い合わせ先】

〈国土交通省に関すること〉

〈柳井原地区河川防災ステーション〉

中国地方整備局 岡山河川事務所

副所長 おおびつ たけし 大 櫃 剛 代表 086(223)5101

建設専門官 きよつな やすし 清 綱 保 志

〈小田川かわまちづくり〉

中国地方整備局 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

副所長 まさき としひで 正 木 俊 英 代表 086(697)1020

工務課長 みずたに かず 水 谷 一 馬

令和2年度

「柳井原地区河川防災ステーション整備計画」及び

「小田川かわまちづくり計画」認証伝達式

日時：令和3年3月26日 14：10～

場所：倉敷市役所 3階 特別会議室

### 式次第

1. 開会
2. 国土交通省中国地方整備局 河川部長 挨拶
3. 河川防災ステーション及びかわまちづくり認証伝達式
4. 倉敷市長 挨拶
5. 記念撮影
6. 閉会

※閉会后、取材対応

# 「柳井原地区河川防災ステーション」(岡山県倉敷市)

別紙1

対象河川：一級河川 高梁川水系小田川【国管理河川】  
 市町村名：岡山県倉敷市



## 1. 概要

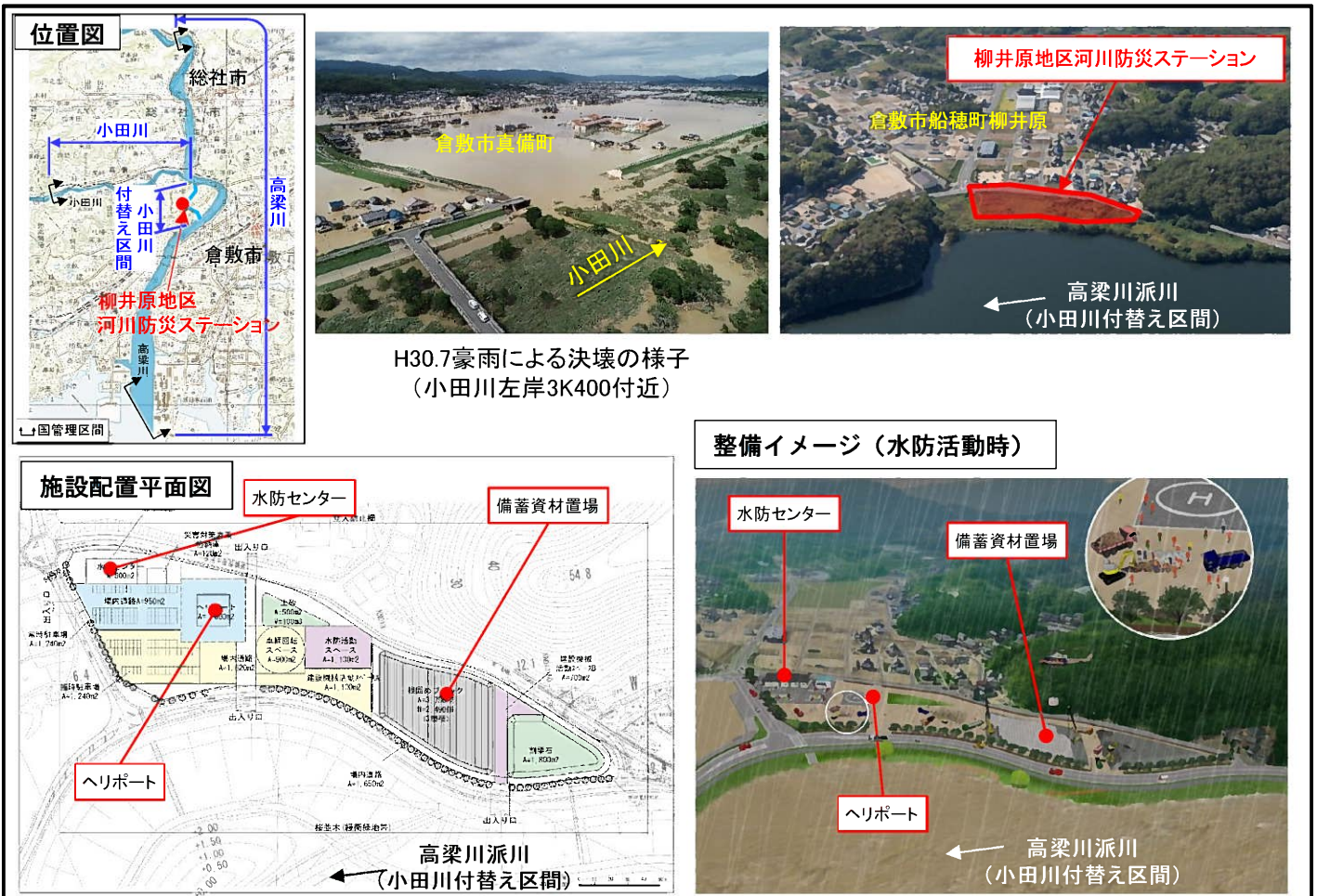
高梁川流域は、岡山・広島両県にまたがり、倉敷市をはじめとする9市3町からなり、下流部の低平地に人口と資産が集中する倉敷市街地と水島工業地帯を擁しています。なお、高梁川水系では、明治26年10月以降、決壊による甚大な浸水被害が3度も発生しています。近年では、平成30年7月豪雨により、小田川2箇所が決壊し、倉敷市真備町では甚大な浸水被害が発生しています。

柳井原地区河川防災ステーションは、既存防災関連施設等と連携を図りつつ、大幅に不足している水防資材及び復旧資材を広域的に補う備蓄基地として、また、大規模な水害等による高梁川流域の被害を最小限に抑えるため、河川管理保全活動及び迅速な緊急復旧活動を実施する拠点となる施設です。

また、平常時には公園のほか、水防センターは地域の交流活動の拠点としての活用や、水防災意識に着目したパネルを展示し防災学習の場として活用するなど、平常時の利活用を推進することで、地域の賑わいづくり及び防災に対する意識向上を図ります。

## 2. 整備内容

国土交通省：盛土造成、緊急復旧用資材(根固めブロック等)の備蓄、ヘリポート等  
 倉敷市：水防センター等



※今後、工事实施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

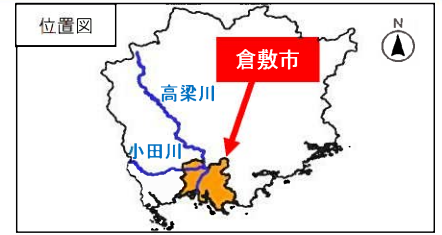
# 「小田川かわまちづくり」(岡山県倉敷市)

別紙2

対象河川：一級河川 <sup>たかはしがわ</sup> 高梁川水系 <sup>おだがわ</sup> 小田川【国管理河川】

市町村名：岡山県 <sup>くらしきし</sup> 倉敷市

推進主体： <sup>くらしきし</sup> 倉敷市



## 1. 概要

倉敷市では、地域資源を活かした交流環境づくりのため、「小田川沿いの水辺を活かし点在する地域資源に親しめる回遊空間の形成」に取り組んでおり、また、本地区では平成30年7月豪雨の被害を受けて策定した「真備地区復興計画」に基づき、「川を感じ楽しめる空間の整備」や「地域資源の発掘・活用」等に取り組んでいるところです。

この取組を充実させるため、本計画では、真備緊急治水対策プロジェクトとの連携により、復興防災公園(仮称)を拠点にサイクリングロードによる水辺のネットワークを形成し、地域資源や魅力ある水辺空間の利活用を促進し、真備地区の復興推進をはじめ、地域の活性化や魅力の向上を図ります。

国土交通省では、この取組に対し、必要な河川管理施設を整備するほか、河川空間において営利活動を実施する場合には、河川敷地占用許可準則22条に基づく、都市・地域再生等利用区域の指定等の支援を実施していきます。

## 2. ハード施策の内容

国土交通省：堤防拡幅、高水敷整正 等

倉敷市：復興防災公園(仮称)整備、広場整備、サイクリングロード整備、案内看板の設置 等

## 3. ソフト施策の内容

国土交通省：パネル、パンフレットによる防災・河川事業についての情報発信 等

倉敷市：各種イベント、サイクリング・散策コース設定、防災訓練、自然観察会 等

### 復興防災公園(仮称)整備イメージ



### 横断面イメージ

復興防災公園(仮称)【市】

サイクリングロード整備【市】  
案内看板の設置等【市】  
堤防拡幅【国】

広場整備【市】  
高水敷整正【国】



### 各種イベント



### スポーツ



### 防災訓練の活用



### 自然観察会



利活用イメージ

# 河川防災ステーション

～地域で守るふれあいのスペース～

「河川防災ステーション」は、水防活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材を事前に備蓄しておくほか、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保するものです。洪水時には市町村が行う水防活動を支援し、災害が発生した場合には緊急復旧などを迅速に行う基地となるとともに、平常時には地域の人々の交流や憩いの場として、また河川を中心とした文化活動の拠点として大いに活用される施設です。国土交通省では、今後も地方自治体と連携を図り計画的かつ積極的に整備していきます。

## 《 「河川防災ステーション」の設置位置 》

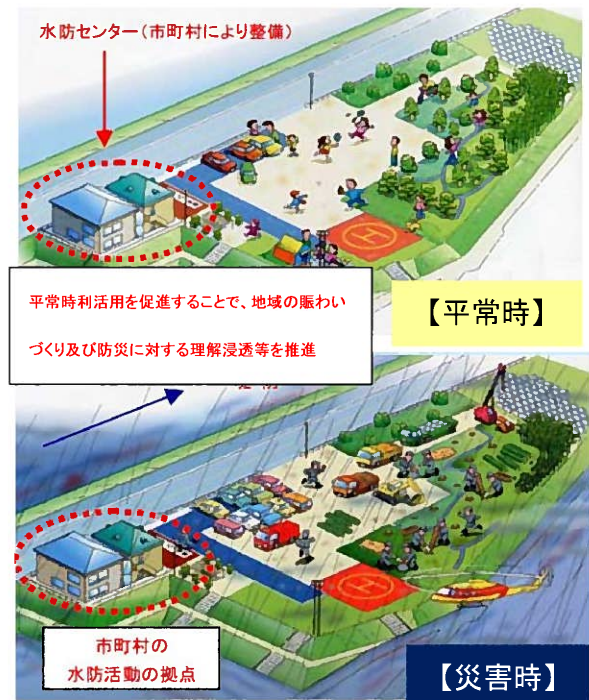
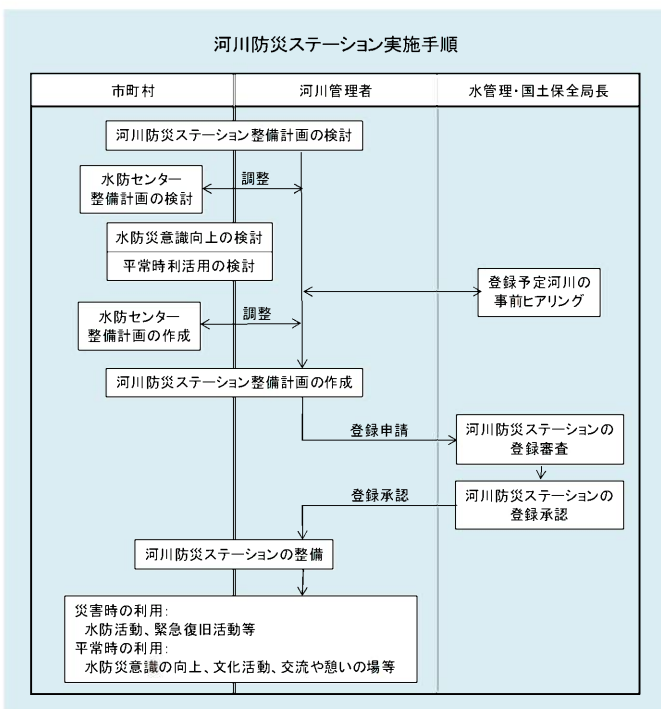
設置位置は、次のようなことを考慮して決めます。

- ① 水防センターなどの関連施設と河川防災ステーションとの役割分担
- ② 重要水防箇所の状況
- ③ 過去に大きな被害を受け、水防活動や緊急復旧の実績のある区間及びその状況
- ④ 想定される水防活動及び緊急復旧活動に関わる輸送路の状況
- ⑤ 水防災意識の向上が期待できるよう、平常時にも一般の利用が活発に行われ、河川を軸とした文化活動の拠点として活用されるとともに、河川事業の展示活動、研修などが展開できる地域

## 《 新規に整備を要望する市町村は、最寄りの河川事務所等に相談を 》

「河川防災ステーション」を整備する際は、洪水時の水防活動及び緊急復旧活動の拠点として整備されるものであり、設置位置、規模、事業効果、その他必要事項を記入した整備計画を作成し、水管理・国土保全局長に登録する必要があります。

「河川防災ステーション」は、河川管理者と水防管理者が一体となって整備する施設ですので、市町村等と調整が図られた計画が設置要望の必須条件となります。新規要望を検討されている市町村につきましては、河川管理者（直轄河川については国土交通省河川事務所等、補助河川については都道府県土木事務所等）にご相談ください。



# かわまちづくり支援制度の概要

河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す。(令和2年度時点:238地区)

## ソフト施策による支援

- ・都市・地域再生等利用区域の指定等による民間事業者等のオープンカフェ等への河川空間の多様な利活用の促進
- ・優良事例に関する情報提供や必要な調査等により、計画の実現を支援

### 都市・地域再生等利用区域の指定の適用事例



遊歩道の民間活用  
(道頓堀川/大阪市)



オープンカフェの設置  
(京橋川/広島市)

### 先進的な取組の情報提供



民間事業者の参加  
(信濃川/新潟市)



賑わい拠点の整備  
(木曾川/美濃加茂市)

## ハード施策による支援

- ・治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理用通路や親水護岸等の施設整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。  
(市町村、民間事業者が河川空間の利用施設を整備)



河川管理用通路の利用  
(最上川/長野市)



親水護岸の利用  
(新町川/徳島市)